



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



平成30年度 静岡県連盟定時総会・表彰式開催

CONTENTS

平成30年度静岡県連盟定時総会・表彰式開催	2	いつも元気だっ!ピーバーだより	11
[仲間増やしゲーム]	4	カブつうしん	11
日本連盟 理事 社会連携・広報委員長 磯山友幸氏		ボーイ通信	12
平成2年度組拡広報委員会事業		指導者だより	13
活動写真コンテスト2017	5	友情章 おめでとう45名の仲間	14
中華民国童軍總會の県連盟表敬訪問	6	マスコミコーナー	15
平成30年度「全国大会に参加して」	7	お知らせコーナー	16
Facebookホットニュース	8	SCOUTING 5月号「日本全国 元気団」に掲載されました	
2017年度 宗教章記録概要報告	10		

平成30年7月
第152号

平成30年度 静岡県連盟定時総会・表彰式

日時:6月2日(土) 会場:静岡市東部勤労福祉センター(清水テルサ)

6月2日(土)、清水テルサにて日本ボーイスカウト静岡県連盟「平成30年度定時総会・表彰式」が開催されました。表彰式では富士章スカウト顕彰、日本連盟の功労章受章者の紹介、県連盟褒章・感謝状・有功章の授与、組織拡充顕彰、地区一番団の表彰が行われました。定時総会では第1号議案

「定款の変更に関する件」、第2号議案「平成29年度事業報告に関する件」、第3号議案「平成29年度収支決算報告に関する件」、第4号議案「平成30年度事業報告に関する件」、第5号議案「平成30年度収支決算報告に関する件」等についての審議が行われ、承認されました。

《表彰式》



名誉会議議長 挨拶



富士賞受賞スカウトの顕彰



17NSJロゴ優秀作品表彰



功労章かつこう章の紹介



スカウティング褒章の授与



功労章たか章の紹介



感謝状の贈呈



地区一番団の表彰



有功章の授与



村松理事長 祝辞



組織拡充顕彰(組織拡充目標達成Sランク浜松12団)

《定時総会》



「おきて」の唱和



事業報告



弥 栄



『仲間増やしゲーム』

～これまでの取り組みから今後へ～

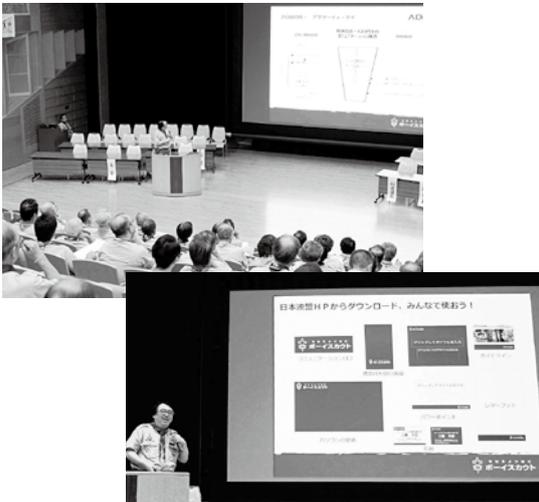
ボーイスカウト日本連盟 理事

社会連携・広報委員長 **磯山 友幸**

日本のボーイスカウト登録人数は減少の一途をたどっている。減少の原因は「少子化」だけではない。ファミリーキャンプの普及などで、キャンプがボーイスカウトの専売特許でなくなった。留学・国際交流が当たり前になり海外派遣の魅力が衰えた。ボランティア活動、NPOの活発化によりボーイスカウトが社会奉仕の「ハブ」になれなくなった。また、共働き世帯の増加により働くお母さんのニーズを捉えて来なかった。しかし他の団体がスカウト教育の真似をするということはボーイスカウト運動が健在である証。今、ボーイスカウト

活動で養うことのできる「非認知能力」が社会で求められている!非認知能力とは学力ではなく「やりぬく力」や「生きる力」といわれるような意欲や自制心・社会性・リーダーシップなどのこと。つまり、ボーイスカウトの減少が止まらないのは少子化だけではない。時代遅れになったわけでもない、魅力を失ったわけでもない、今こそやり方の変革が必要である!それではどのような変革が必要か? 現在のボーイスカウト活動、名前は知っているが何をしているかわからない謎の集団化している。率先して「スカウト活動や制服を見せる」ということが必要!またターゲット層である保護者に向けてSNSを使って効果的に情報拡散が要。更に活動

に参加できるよう調べやすいHPの充実が課題である。仲間増やしの戦略として、以下の「10本の矢」を唱える。
①イメージを統一して徹底的に発信しよう、②きっかけになるPR動画をできるだけ拡散しよう、③PR動画を作ってコンテストに応募しよう、④関心を持った人たちをリクルートサイトに呼び込もう、⑤団の情報をもHPで発信しよう、⑥多くの人にスカウティングを体験してもらおう、⑦入隊したビーバー・カブのお母さんの声を聞こう、⑧ローパーを社会に売り込もう、⑨かつての仲間を呼び戻そう、⑩日連「PRドリームチーム」に参加しよう。発信しよう「ボーイスカウト!」。



《感想》

最終的にスカウトを獲得しなければならないのは団であり、隊であります。隊指導者としてできる広報活動も多数紹介頂きました。SNSでの拡散・発信を通じてスカウト運動の認知度を向上させるという手段は地道ではありますが効果が十分に期待できるものと感じました。一人一人が実践することで効果に繋がるということがよくわかりました。

(組織拡充広報委員 西尾崇伸)



最優秀賞：御殿場小山地区御殿場 6 団

平成29年度組拡広報委員会事業 活動写真コンテスト2017

組織拡充広報委員長 **土山 惟之**

平成29年度組拡広報委員会の事業で活動写真のパネル化を募集しました。結果、県下10地区より49点の応募を頂きました。提出頂きました写真はどれもスカウトがいきいきとスカウト活動に取り組む様子がわかる素敵な作品でした。

組拡広報委員会ではそれら写真を対象に県連総会の会場で写真コンテストを開催致しました。事前に県連facebookでも提出写真を公開致しました。

当日来場の皆様の投票により以下の作品が入賞し、懇親会の前に授賞式を行いました。本年度も秋になりましたらまた活動パネル写真の募集を行う予定です。皆様からの積極的なお申込みをお願い致します。



👉 **佳作：浜松東地区浜松 22 団**

👈 **優秀賞：沼駿地区沼津 4 団**

投票風景と表彰式



審査会場受付で配布したシールで投票して頂きました。



懇親会にて優秀賞の表彰を行いました。

中華民國童軍總會の県連盟表敬訪問

日 時：5 月 24 日(木) 会 場：静岡県連盟事務局



5 月 26 日(土)～27 日(日)岐阜で開催された「ボーイスカウト日本連盟平成 30 年度全国大会」に中華民國童軍總會御一行様が日本連盟より招待され、大会前の 24 日(木)日本ボーイスカウト発祥の地静岡市に立ち寄られて葵小学校スカウト像及び尾崎忠次先生ギャラリーを見学後、静岡県連盟事務局を表敬訪問されました。

訪問者は 蘇徳祥(中華民國童軍總會秘書長)

陳春興(中華民國童軍總會活動・進程委員長)

李佳恵(中華民國童軍總會國際委員)





平成30年度 「全国大会に参加して」

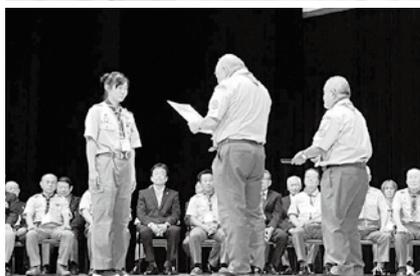
沼駿地区 裾野第4団 野田 由男

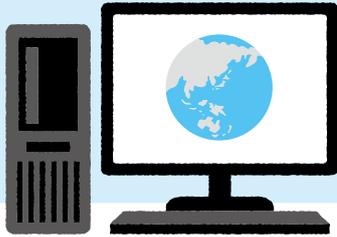
去る5月26日、27日岐阜市内長良川国際会議場で「清流の国ぎふ」平成30年度全国大会が開催されました。初日は大ホールにて各種式典、会議が開催され、翌27日は、全国スカウト教育会議でテーマ集会が開かれ、研鑽しました。私は今回富士特別野営で一緒した多くの

ローバースカウトたちと会うことが出来、たくさんのローバーたちの展示ブースでお話をお聞きしました。自分たちは何が出来るか模索した上で国際交流、防災減災、交流キャンプ企画などいろいろなテーマで活動していました。その後、RCJ総会に参席させていただき、活動改革を提案採択して、今年度運営役員を選任して、活動を決意しました。RCJ中部ブロック

代表に三島地区の三田あかねさんが選ばれました。ローバー年代の若者が企画、準備して大人の社会同様に総会開催、更にスマホを使った投票など若者らしさも出ていました。将来の可能性に期待したいです。有意義な岐阜でした。

彌榮





Facebook ホットニュース



Facebook 活用勉強会 講師: 組織拡充広報委員 西尾 崇伸 氏

日時: 平成30年6月16日(土) 会場: 三島市社会福祉会館3F第1会議室

1月の浜松地区に続いて6月16日三島でFacebook活用勉強会を行いました。前回以上に内容もバージョンアップして前半はfacebookページの作り方を紹介し、後半は利用上の注意とポイントを紹介しました。著作権や肖像権などのインターネット上でスカウト活動の広報を行う上で最低限押さえておきたい情報はもちろん、スカウト活動の魅力の発信の方法などを紹介しました。今後もfacebookをフルに利用してスカウト活動の魅力を最も伝えていきたいと思っております。ご意見、新規情報などございましたら連盟事務局を通じて何時でもお問合せ下さい。



17NSJ結隊式

日時: 5月27日 場所: 浜松カトリック教会
浜松地区 浜松第14団

今夜17NSJ静岡14隊15隊の結隊式がカトリック浜松教会の司牧センターで行われました。いよいよジャンボリーが始まります。



ボルダリング体験

日時: 5月26日

浜松地区 浜松第19団ボーイ隊

本日のボーイ隊活動は、「ボルダリング体験」。楽しんで来たようです。楽しいことのあとは、訓練が待っている!!

夕御飯の支度にあたふた(^.^);(^.^)あっという間に日が暮れてきました。「キャベツの千切り選手権」は、中1のスカウトの優勝。夕御飯の片付けもそこそこに次は「パッキング」の指導。夏のジャンボリーに備えてのアドバイスが隊長からありました。約一週間分の荷物、最低限何を持っていくか、どれだけコンパクトにできるか、代用できるものがあるか、なかなか難しいですね。





スカウトジャンボリー 静岡第8隊結成

静岡 8 隊 (清水 19 団・掛川 2 団・菊川 1 団)

17NSJ 静岡8隊は清水地区 (清水第 19 団) と掛川・袋井地区 (掛川第2団・菊川第1団) の混成隊です。5月1日(日)第1回、5月12日(日)2回目の班長会議を静岡で行い、そして5月27日(日)菊川第1団の団ハウスにて全員集合。上班、班長以外のスカウトは初めての顔合わせでした。この日は、マジックやフェルト生地を使った班旗の製作と、交換品に使用する名刺をパソコンで作り、緑の美しい広場では交流を深めるためのゲームをしました。



ロープを使ったゲーム



パソコンを使って名刺づくり



第1回班長会議



第2回班長会議



富士第6団大運動会

富士第6団カブ・ビーバー隊

日時:5月13日、場所:富士市無地御台調整池

5月13日は少しだけお休みしていた団大運動会が、富士見台調整池で実施されました。朝はとても良いお天気だったのですが、後半急に崩れだして最後の綱引きができなかったようです。

でも、みんなで協力して楽しい運動会になりました。

一緒に汗を流していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



2017年度宗教章記録概要報告

実施日:2018年3月24日～26日 場所:臨濟宗方広寺 担当:浜松東地区



3月24日(土)～26日(月)に浜松市北区奥山方広寺にて第14回宗教章研修会(仏教章)を実施しました。参加団は浜松を中心にした7個団、遠くは清水17団、菊川1団、掛川2団からの参加をいただきスカウト25名の参加での研修会となりました。

例年、桜の先始めの頃の開催で凍えながらの研修でしたが、今年は数日前までの冷え込みから一変、桜満開の暖かな日々の中の研修となりました。

スカウトにとっては、早朝の半僧坊祈祷、座禅、食事の作法、般若心経読経、朝の作務(清掃)、法話、仏教講義と日常では経験しない生活に、最初は戸惑いながらも日々表情の硬さが取れていく様子を感じられました。

特に、「仏教に対するイメージが変わった。座禅に対して心を整えるものを知った。食事の作法に驚いた。ボーイスカウトのちかいと掟に共通するものを感じた。」等、有意義な研修であったと感じていたようです。



〈スカウトの感想集計〉複数回答

- 宗教(仏教)の歴史や教えを初めて知り、驚きと共に良かったと感じる。…………… 15
- 座禅は足が痛く辛かった。…………… 5
- 座禅は集中することで心が整えられることを体験出来て良かった。続けたい。…………… 14
- 食事作法(洗鉢)にはビックリ。食事への感謝を知った。…………… 6
- 修行を通して心を整える事を知り、仏教へのイメージが変わった。…………… 5
- ボーイスカウトのちかいと掟と同じものを感じた。…………… 2



さかなつり!

磐田地区 磐田第7団 ビーバー隊 つかだ ゆうな

4月に、ビーバーのなかまと、ふくでぎょこうに、さかなつりにいきました。

男子と女子で、どちらが多くつれるか、たいけつをしました。

まっているときは、なにがつれるか、たのしみで

した。わたしがさいしょに、かかったのは、あゆ（実際はサバ?）でした。小さかったけど、すこし力がいりました。つれたばかりのあゆは、つるつるしていたけど、じかんがたつと、ぬるぬるしてきました。はじめてさわったので、おもしろかったです。

たいけつは、20ぴきと19ぴきで女子が、かちました。

たくさんつれるじきに、またいきたいです。たのしかったです。



沼駿地区 裾野第3団

だいきらいなそうじ

裾野第3団 カブ隊 白取 希逢

ぼくは、十里木キャンプ場でだいきらいな落ち葉拾いをしました。

さいしょは、「だいきらいなそうじはいやだな」と思っていました。とちゅうでこしがいたくなりました。だけど、やっているうちにいたみをわすれました。

いっぱい落ち葉が集まった落ち葉の山をみて、「自分たちで集めた落ち葉を見るとたっせいかんがあっていいな」、「人のやくにたててよかった」と思いました。集めた落ち葉は、トラックにのせてはこびました。

さいしょはいやでもさいごにはいいことがあったのでよかったです。



十里木清そうをしたよ

裾野第3団 カブ隊 市川 碧

4月のある日曜日、十里木清そうをしました。

さいしょにぼくは、一りん車ではいた木の葉を少しおくのほうにすてるさぎょうをしました。

つぎにその木の葉をかたづけたのでとなりをかたづけに行きました。

そっちでも一りん車をやりました。

そしたら、けいすけくんが一りん車をやりたいといだったので、かしました。

そして、あつめた木の葉をふくろにいれて、一りん車やトラックに木の葉をつみました。

さいごに、物おきのとなりのあいているところをそうじしておわりました。

十里木キャンプ場清掃

裾野第3団 カブ隊 原 正彦

裾野のスカウトなら誰でも知っている十里木キャンプ場、今年も恒例の清掃奉仕を行いました。

いつもと違うのは、キャンプ場が今年で閉鎖となる事です。

長年、一イスカウトのみならず多くの人々がここでキャンプをしたことでしょう、残念です。

思えば、様々な場面が思い起こされます。

雨降りでもできず過ぎた夏キャンプ、急な雨により食事ができず炊事塔で雨宿り、寝ているとなんだか冷たい、テントが水没してるぞ。

そう、雨にまつわるキャンプばかり、でも無くなると思うととても寂しいです。

もしよろしかったら、このキャンプ場を知る方は最後に泊まってみたいいかがでしょうか。

18 きっぷのたび

清水地区 清水第8回 カブ隊 松島 生(まつしま なると)

カブとビーバーで18キップでよこはまに行ってきました。はじめて見たよこはまはとても大きな町でした。みなとがみえるおか公園から見えた、きしきはとても大きく見えました。みなとでは、ひかわ丸のせんないをけんがくしました。めずらしかったです。そのあと、あるいて、よこはまレンガそうこに行きました。人がたくさんいてにぎやかでした。大さん橋に清水のみなとにきたことがある大きな客船が止まっていた。清水では大きく見えていたのに、よこはまでは小さく見えました。その後、中華街に行きました。中華街の中は中国人の店がたくさんありました。町の中はたくさんの人でにぎわいでお祭りみたいでした。みんなで肉まんを食べて中華のふんいきを味わいました。最後におみやげを買いました。18キップで楽しく帰りました。よこはまにまた行きたいです。



青春18切符の旅

島田地区 吉田第2回 ボーイ隊 益田 蒼平

僕達、ボーイスカウト吉田2回は3月25日にJRの青春18切符を利用し、東京の高尾山まで行きました。

目的は、何時に出発し、いつ乗り換えるかなど、自分達で時刻表を使えるようにして活動計画を立て、実行し達成するまでが目的です。

僕達は、朝4時50分に集合し、島田の六合駅を5時32分発の電車に乗り、5時間かけ高尾山口駅に向かいました。

到着後、一時間半かけて登頂しました。頂上は麓と違いとても寒かったです。

神社でお参りをした後、リフトで下る時の木々の美

しさとさわやかさは忘れられません。

麓の商店街で売っていたポテトチップスの、製造元が地元の工場だったのでとても親近感を覚えました。

帰りは疲れる事を想定し、グリーン車を一部区間利用しました。今回の活動は、電車を普段使わない僕にとって、貴重な体験となりました。

今度は、電車を使って家族旅行をしたいです。その時は僕が家族のリーダーとなって計画を進め、実行し満足のできる結果を出したいと思います。



僕と仲間とナイトハイク

浜松東地区 浜松第30回 ボーイ隊 土屋 斗和

僕は、4月の隊集会のオーバーナイトハイクに、三人の班の仲間と共に、約60キロの道のりに挑戦した。

最初はみんなでワイワイ話しながら、少し速いペースでチェックポイントを回っていた。しかし、このペースで体力が60キロもつか、もたないか不安な気持ちだった。

早朝、空が少しずつ明るくなると、逆に僕達の顔は、目が開かなくなってきた。疲労に一番襲われやすい朝はとても辛く、休むことが増えてきた。しかし、どんなに疲れて苦しくても、やめる仲間は一人もいなかった。

いよいよ、ゴールは目の前、希望の温かい光が僕達を包んだ。このゴールまで来れたのは、仲間と励ましあったから。仲間がいなかったら歩むことのできなかつた道のり。仲間がいたからこそこのゴール。このゴールで感じた仲間との「絆」こんな、絆あふれる班で、これからの活動へ参加できることを嬉しく思えた道のりであった。



指導者だより

スカウティングと地域防災の連携

伊東地区 熱海第 11 団 地区組 拡・広報委員 望月 丈永

伊東地区熱海第 11 団の大山正晃団委員長は、5 月に開催された熱海市自主防災連合会総会で会長に選出されました。これまでは、同副会長として防災教育、熱海市で最大の地域、職域防災訓練を企画、実行した実績で市危機管理部、町内会長連合会長から推薦されたものと思います。

大山団委員長からは、「ボーイスカウトだから是非やって貰いたいと推挙され、日頃よりスカウト達に『人の為になる公民になろう』と言っている立場上スカウトに率先し重要任務を引き受けた。スカウト活動の障害になることもあると思うが、承知して貰い」と告知を受けました。



なお、本年度は熱海市消防団長にも熱海 11 団スカウト O B の櫻井佳久さんが選出され、消防団・自主防と、市の安全を守る両市民組織の長をボーイスカウトが担う事となりました。6 月末には熱海市内の小学校と東伊豆で予定されている防災学習に伊東地区内の指導者とボーイ隊以上のスカウトが支援予定で、「そなえよつねに」と共に地域へスカウティングを広めていきます。

新会長に大山さん(桃園)

市自主防災連合会
退任役員 2 人を会長表彰

大山正晃団委員長は、5 月に開催された熱海市自主防災連合会総会で会長に選出されました。これまでは、同副会長として防災教育、熱海市で最大の地域、職域防災訓練を企画、実行した実績で市危機管理部、町内会長連合会長から推薦されたものと思います。

大山正晃団委員長は、5 月に開催された熱海市自主防災連合会総会で会長に選出されました。これまでは、同副会長として防災教育、熱海市で最大の地域、職域防災訓練を企画、実行した実績で市危機管理部、町内会長連合会長から推薦されたものと思います。

大山正晃団委員長は、5 月に開催された熱海市自主防災連合会総会で会長に選出されました。これまでは、同副会長として防災教育、熱海市で最大の地域、職域防災訓練を企画、実行した実績で市危機管理部、町内会長連合会長から推薦されたものと思います。



原点に戻るスカウティング

富士地区 富士第 15 団 隊長 本木 威達

今からおよそ 30 数年前、自分も 1 スカウトだった。色々な事を沢山先輩スカウトから教わった。およそ 10 年前、指導者になった時に何か違和感を覚えた。先輩スカウトが何も教えない、教えられない事だった。

隊長を拝命してからは、とにかく班長を育てよう、そして、班長から班員へ伝承していこうと決めた。基本は班活動であり、班長中心の活動。スカウト自身による自発活動こそが、スカウティングの基本と信じ、今までやってきた。紆余曲折を経て、最近ようやく形が見え始めた気がする。

団ごとのやり方があっても良いと思う。ただ、それ

は基本を理解し、実践してからだと思う。まだまだ自分も学びの身、日々の研鑽を怠ることなく、スカウトたちの笑顔のため、今後も頑張っていきたいと思う。





おめでとう!! 45 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友だちに「スカウトになろうよ!」と言って、
友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

平成30年5月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充広報委員会

氏名	地区	所属
芦川 陽星	沼 駿	沼津第 1 団 C S
工藤 智輝	沼 駿	沼津第 1 団 C S
中村 倭士	沼 駿	沼津第 1 団 C S
井出 博基	沼 駿	沼津第 4 団 C S
植松 竜之介	沼 駿	沼津第 4 団 C S
鈴木 煌大	沼 駿	沼津第 4 団 BVS
井上 兼続	沼 駿	沼津第 19 団 B S
荒浪 結衣	島 田	島田第 5 団 C S
廣野 まいあ	御殿場小	御殿場第 6 団 C S
上村 優依	富 士	富士第 6 団 C S
上村 愛依	富 士	富士第 6 団 BVS
杉山 碧	沼 駿	長泉第 2 団 C S
菊地 柚輝	沼 駿	長泉第 2 団 C S
藤森 颯空	浜松東	浜松第 22 団 C S
村松 飛羽	浜松東	浜松第 22 団 C S
渡邊 空翔	浜 松	浜松第 12 団 C S
岡部 幸太郎	浜 松	浜松第 12 団 C S
渡邊 陽翔	浜 松	浜松第 12 団 C S
只野 龍之介	浜 松	浜松第 12 団 C S
原野 志緒	浜 松	浜松第 12 団 C S
野田 惇耀	浜 松	浜松第 12 団 BVS
後藤 颯太	浜 松	浜松第 12 団 BVS
木本 真緒	富 士宮	富士宮第 22 団 B S

氏名	地区	所属
佐藤 和彦	富士宮	富士宮第 22 団 B S
佐藤 加奈	富士宮	富士宮第 22 団 C S
熊谷 天良	富士宮	富士宮第 22 団 C S
市川 亮太	富士宮	富士宮第 22 団 BVS
鈴木 まりな	島 田	島田第 5 団 BVS
殿塚 悠夏	島 田	島田第 5 団 C S
田中 凜太郎	浜松東	浜松第 6 団 C S
鈴木 晶大	浜松東	浜松第 6 団 C S
佐野 貴隆	浜松東	浜松第 6 団 BVS
山崎 未来	浜松東	浜松第 6 団 BVS
前田 英樹	富士宮	富士宮第 22 団 BVS
松本 健	沼 駿	裾野第 3 団 BVS
井之上 和輝	清 水	清水第 7 団 C S
松島 生	清 水	清水第 8 団 C S
平尾 泰雅	清 水	清水第 8 団 B S
中山 琳翔	清 水	清水第 8 団 B S
山口 悠一朗	清 水	清水第 13 団 C S
望月 智啓	清 水	清水第 13 団 BVS
関 彰太	富 士	富士第 8 団 BVS
川合 柑奈	富 士	富士第 8 団 BVS
関 健斗	富 士	富士第 8 団 C S
田中 瑞己	富 士	富士第 8 団 BVS

※前号で掲載された島田地区、鈴木雄聖君の所属団は島田第 5 団でした。お詫び申し上げます。



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

富士 日本ジャンボリー参加隊結隊
ボーイスカウト富士地区協議会は31日、8月に石川県で開催される第17回日本ジャンボリー



の参加隊結隊式を富士市のラ・ホール富士で開いた＝写真＝

富士、伊東、熱海の3市の小学生から高校生の約60人が参加した。地区の代表者らは「技術を身に付けて心に余裕を持ち、外国の人とも交流して」などと呼び掛けた。

参加者は所属する団の枠を超えて8人の班を結成し、班長を決めるなどして交流を深めた。

静岡新聞
平成30年4月1日(日)
朝刊に掲載

富士宮 B Sが緑の募金協力呼び掛け
富士宮市のボーイスカウト富士宮地区第21団(赤池俊洋団委員長)は8日、緑の募金への協



力の呼び掛けを同市の富士山本宮浅間大社で行った＝写真＝

同市万野原地区の団員らでつくる同団。小学生から高校生までのスカウトたち約20人が参道に立ち、参拝客に「緑の募金、協力お願いします」と元気に呼び掛けた。協力者には緑の羽根を手渡した。

静岡新聞
平成30年4月11日(水)
朝刊に掲載



本年度の事業計画や体制を報告する佐藤委員長(右)ら＝浜松市役所

18年度から2地区体制
B S浜松連合会、市長に説明
浜松市で活動する018年度からの新体制を説明した。本年度の事業計画として、7月1日(日)に開かれた市役所を訪れ、2年度から報告した。伊藤正広(4)高村好美(9)塩田順(10)羽生田直雄(14)

静岡新聞
平成30年5月1日(火)
朝刊に掲載

静岡新聞
平成30年6月14日(木)
朝刊に掲載

BS活動で最高章

浜松市長に喜びと抱負

浜松市内のボーイスカウト活動を誇る鈴木康友市長の管理や炊事、応急救急カワト活動で優れた実長に喜びと今後の抱負を述べた。2017年を報告した。愛蔵した小学から高学年代の最高章を愛蔵した小学から高学年代の「富士章」2は数人しか受賞者がいない。このほど、市役所を訪れ、「スーパークワ」25松連合協議会の名譽会人、富士章はキャンプ



富士章を受賞し、今後の抱負を語る岡本さん(左)＝浜松市役所

切はるかさん18日浜松北高3年11は「たさんの仲間、両親の支えがあったからこそ来られた」と感謝の言葉を述べた。同氏は、今後はボーイスカウト人口を増やすことを目指す。精進を怠らぬよう努力を続けたいと意気込みを語った。

2018年度
の事業計画などを含めた
018年度の事業計画
を決定した。ラフレア
の交流10周年を記念
し、8月にラフレア
地区協議会のスカウトら
が同市を訪問する。同市を
次総会を審議した。
10市内で開いた。人材
育成をはじめ、組織の
発展に尽力した団員ら
の表彰などを行った。

静岡新聞
平成30年3月31日(土)
朝刊に掲載

2018年度
の事業計画などを含めた
018年度の事業計画
を決定した。ラフレア
の交流10周年を記念
し、8月にラフレア
地区協議会のスカウトら
が同市を訪問する。同市を
次総会を審議した。
10市内で開いた。人材
育成をはじめ、組織の
発展に尽力した団員ら
の表彰などを行った。

※いろいろな所にボーイスカウトの活動が新聞雑誌、ネットなどに掲載されているのを見つけた方は静岡県連まで御一報ください。

おしらせコーナー

各研修会のご案内

◆団委員研修所静岡26期

- 日 時:平成30年9月15日(土)~9月17日(月・祝)
- 場 所:清水和田島自然の家 静岡市清水区和田島271-3
- 申込み:8月29日(水)まで

◆コミッショナー研修所第14期

- 日 時:平成30年9月22日(土)~9月24日(月・祝)
- 場 所:国立中央青少年交流の家 御殿場市中畑2092-5
- 申込み:9月2日(日)まで

◆WB研修所スカウトコース静岡第5期

- 日 時:平成30年10月5日(金)~9月8日(月・祝)
- 場 所:浜松太田山野営場 浜松市北区引佐町奥山653-80
- 申込み:9月9日(日)まで



SCOUTING 5月号
「日本全国 元気団」で
浜松第30団が特集されました。



ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編集日記

17NSJを前に、各地区・団共に慌ただしい毎日と思います。本年度も秋になりましたらパネル写真を募集致します。夏のキャンプ・研修ほか、思い出を写真に込めて応募下さいませお願いします。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2018年7月
 発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
 〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
 県青少年会館内
 TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>
 編集責任者 組織拡充・広報委員長 土山 惟之
 印 刷 三富印刷株式会社
 静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678
 発行部数 4,898部